



持続可能なエコツーリズムは日本でも可能か

日本ホスピタリティ・マネジメント学会第27回全国大会開催

8月25日、江戸川大学駒木キャンパスで、日本ホスピタリティ・マネジメント学会の第27回全国大会が開催された。江戸川大学社会学部現代社会学科の崎本武志教授が大会実行委員長となり、「自然環境共生とホスピタリティ・マネジメント」

ト」を統一論題として行われた。基調講演として、株式会社ピッキオ・ディレクターの楠部真也さんが日本国内のネイチャーガイドの現状とこれからについて報告をした。（撮影：石井悠大 取材：文工藤謙真）



株式会社ピッキオディレクター 楠部真也さん。ピッキオ(picchio)とは、イタリア語でキツツキの意味。



江戸川大学社会学部現代社会学科長 土屋薫教授



江戸川大学国立公園研究所長 中島慶二教授

株式会社ピッキオは、長野県軽井沢を中心にネイチャーツアー、エコツーリズムツアー、野生動物の保護などの活動をしている。野生動物と人との共存を目標としている。

講演のなかで楠部さんは、日本では持続可能なエコツアーの経営が課題だと訴える。日本は他国とくらべてエコツアーの値段がとて安いという。そのため、ネイチャーガイドのステータスが低く、若くて優秀な人材が集まらないので、エコツアーの市場も広まらない。悪循環のため非持続的な経営となってしまうという。

管理に力を入れていて、ツキノグマの研究がトップクラスであることを掲げ、研究データを活用し、世界から優秀なスタッフを募集し、世界的な連携を図って研究所を設立したいと語った。

講演のなかで楠部さんは、日本では持続可能なエコツアーの経営が課題だと訴える。日本は他国とくらべてエコツアーの値段がとて安いという。そのため、ネイチャーガイドのステータスが低く、若くて優秀な人材が集まらないので、エコツアーの市場も広まらない。悪循環のため非持続的な経営となってしまうという。

長野県下高井郡の地獄谷野猿公苑では外国人観光客が多く訪れることが報道された。それが話題となり、国内からの観光客が年間11万人も訪れるようになった。外国人が増えると日本人も増える。楠部さんの戦略は、訪日外国人が日本の自然を体験しやすい環境を整備することだ。

また、日本はクマの保護の高いサービスを提供することでエコツアーの市場が広がっている。日本の自然の風景は住んでいる人にとっては見慣れた風景である。しかし、ヒマラヤ山脈が引き起こすジェット気流の影響で形成された豊かな自然環境はテヘランやサハラ砂漠、ラスベガスなどといった乾燥した地域で暮らす人たちににとっては、大変珍しい光景だと楠部さんは言う。

また、日本はクマの保護の高いサービスを提供することでエコツアーの市場が広がっている。日本の自然の風景は住んでいる人にとっては見慣れた風景である。しかし、ヒマラヤ山脈が引き起こすジェット気流の影響で形成された豊かな自然環境はテヘランやサハラ砂漠、ラスベガスなどといった乾燥した地域で暮らす人たちににとっては、大変珍しい光景だと楠部さんは言う。

また、日本はクマの保護の高いサービスを提供することでエコツアーの市場が広がっている。日本の自然の風景は住んでいる人にとっては見慣れた風景である。しかし、ヒマラヤ山脈が引き起こすジェット気流の影響で形成された豊かな自然環境はテヘランやサハラ砂漠、ラスベガスなどといった乾燥した地域で暮らす人たちににとっては、大変珍しい光景だと楠部さんは言う。

また、日本はクマの保護の高いサービスを提供することでエコツアーの市場が広がっている。日本の自然の風景は住んでいる人にとっては見慣れた風景である。しかし、ヒマラヤ山脈が引き起こすジェット気流の影響で形成された豊かな自然環境はテヘランやサハラ砂漠、ラスベガスなどといった乾燥した地域で暮らす人たちににとっては、大変珍しい光景だと楠部さんは言う。

また、日本はクマの保護の高いサービスを提供することでエコツアーの市場が広がっている。日本の自然の風景は住んでいる人にとっては見慣れた風景である。しかし、ヒマラヤ山脈が引き起こすジェット気流の影響で形成された豊かな自然環境はテヘランやサハラ砂漠、ラスベガスなどといった乾燥した地域で暮らす人たちににとっては、大変珍しい光景だと楠部さんは言う。

また、日本はクマの保護の高いサービスを提供することでエコツアーの市場が広がっている。日本の自然の風景は住んでいる人にとっては見慣れた風景である。しかし、ヒマラヤ山脈が引き起こすジェット気流の影響で形成された豊かな自然環境はテヘランやサハラ砂漠、ラスベガスなどといった乾燥した地域で暮らす人たちににとっては、大変珍しい光景だと楠部さんは言う。

また、日本はクマの保護の高いサービスを提供することでエコツアーの市場が広がっている。日本の自然の風景は住んでいる人にとっては見慣れた風景である。しかし、ヒマラヤ山脈が引き起こすジェット気流の影響で形成された豊かな自然環境はテヘランやサハラ砂漠、ラスベガスなどといった乾燥した地域で暮らす人たちににとっては、大変珍しい光景だと楠部さんは言う。

講演後、江戸川大学現代社会学科土屋薫教授、同大学国立公園研究所中島慶二所長、日本ホスピタリティ・マネジメント学会山本壽夫会長がパネルディスカッションに登壇し、持続的な環境保護と観光の創生を提言し閉会した。